

冬季の服装について

秋の深まりを感じる季節となりました。皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力ありがとうございます。さて、気温も低くなり、衣替えをしている児童も多くなってきました。冬季の服装について下記の通り記載していますので、ご確認をよろしくお願いします。

記

○寒いと感じる日の登下校には、長ズボンやタイツ、セーター、手袋、ネックウォーマー、マフラーを着用してもよい。また、制服の上にウインドブレーカー等の防寒着を着てもよい。登校後は、体調や気候に合わせて、終日長ズボン、タイツを着用してもよい。ただし、次の点に留意する。

セーター・マフラーについて

- ・制服の下に着用するものは、スクールセーター類（黒系、紺系、白系統）が望ましい。なお、**登下校中は制服を着用し、セーターだけで登下校はしない。**
- ・校外での活動や行事、式典の時には、必ず上着を着用する。
- ・**マフラーは制服の中に入れる。**

ウインドブレーカーについて

- ・黒系、紺系、白系統のもので、**華美でないもの**にする。また、安全面から、**フードがついていないもの**に限る。
- ・登校後はランドセル・ナップザック内で保管する。たたんでランドセル・ナップザックに入るものを着用する。

長ズボン着用について

①ズボンの種類等について

- ・制服の代わりに着用するものなので、**だらしなくならないように配慮**する。
- ・色は、黒系、紺系統で、柄や模様、飾りのついてない、華美でないものにする。
- ・細いラインや、メーカーの小さなマークなどは認める。
デニム、スウェット、カーゴパンツ、表が起毛加工のものは避ける。

②タイツについて

- ・黒系、紺系統の無地のものに限る。
- ・防寒を目的としているため、**五分丈や七分丈のものは禁止。**
- ・雨天時等、タイツが濡れてしまって、靴下もない状態にならないようにする。

③運用について

- ・服装は、ズボンのみ、あるいはスカートのみ（スカートの下にタイツをはいてもよい）をはくこととする。
終日、長ズボン、タイツを着用してもよい。**ズボンの上にスカートをはかない。**

※体調不良時などは、季節に関わらず長ズボンを着用してよい。（連絡帳で申し出をする。）

体育時の服装について

- ・体操服（半袖、長袖、半ズボン）は既定のものを着用する。
- ・気温や体調に合わせて、体育用の防寒着を着用してもよい（上下ともに可）。
- ・既定のものではない体育用の長袖（体操服の上に着るもの）を着る場合は、**左胸に名札**を付ける。
（学年・組はなくてもよい。）
〔例〕 5cm以上

鈴木

- ・既定のものではない体育用の長袖は、安全面からフードの付いていないものに限る。 10cm以上
- ・冬季の運動でも発汗するので、蒸れたり汗が冷えたりする健康面と、砂などの汚れに関する**衛生面に配慮して、着用する防寒着は、上下に関わらず、普段のものと体育時のものを分ける。**
- ・怪我をした場合、患部をすぐに確認できるように、防寒着としては長ズボンを推奨する。

カイロについて

- ・寒い日は、体調にあわせて使用してもよい。（持たせる場合は**必ず記名**する。）
- ・落としたり、投げたりするトラブルが多いため、**ポケットから出さない**など、家庭でも使い方を確認しておく。